

慶應義塾大学自動車工学研究会ニューズメール6



発行日 2003年8月21日

発行場所

横浜市港北区日吉3-14-1

矢上ガレージ

URL

<http://www011.upp.so-net.ne.jp/keio-jikouken/>

Eメール

fjsae-keio-jikouken@egroups.co.jp

発行者

難波江 祐平(090-4451-6041)

フレーム製作がツインリンクもてぎで始まる

去る8月8日から12日にかけてツインリンクもてぎの工房内にて大会用フレームを製作した。自工研からは9名が参加し、マイスタークラブ(元ホンダ技術者)の皆様のご指導のもと5日間の制作に励んだ。宿泊は4泊とも車中泊であった。設備は定盤、フライス・溶接・ボール盤等、豊富である。



一年生も即戦力！！

直前の技術講習会(7/29~7/31)を受けた一年生が即戦力として参加。溶接技術も飛躍的に向上した。

写真左 4年穀野

写真右 1年中村



サスペンションアームの製作

サスペンションアームの製作もフレーム製作と合わせて行った。

事前に治具、材料切り出しを行い準備をした。アームの曲げは排気管、フレームの曲げ同様「小林機構様」にいただいた。



新型フレーム完成

新型フレームは「女性に優しい」というコンセプトの下、ペダル調整機構、ステアリング調整機構、専用シートを備え付け、試作車に比べて大幅な変更が見られる。フレーム重量は各種調整機構・パイプ径の変更により40kgとなった(試作車32kg)。フレーム精度はかなり高く、治具の重要性を改めて実感した

マイスタークラブの森氏から今回のフレーム設計者の清水が花束をいただいた。

森様をはじめマイスタークラブの方々、本当にありがとうございました！！

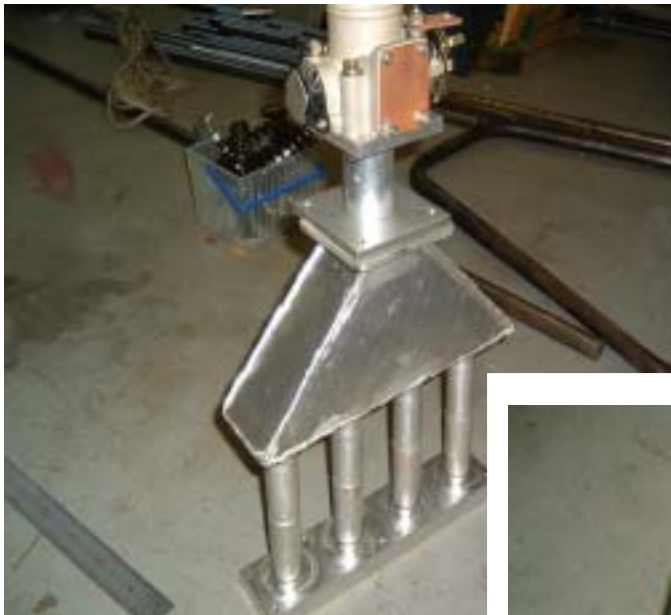




旧車両でのエンジンテスト

旧車両にて新型吸気・排気を搭載してのテストが7月から行われた。電装・冷却配管・燃料系系統の確認も併せて行われた。排気漏れ等もなく、アイドリングも安定していた。今後は実走行でのテストを重ねていく。エンジンオイルはカストロール様提供の「ピュアレーシング」を使用している。水温を100度まであげ、配管の強度やスロットルの開度とふけ上がり方の観察をした。

アルミインテーク・燃料タンク



吸気管

アルミ製とし、ホンダ「ロゴ」用のスロットルボディを搭載した(レギュレーション上スロットルは一つに絞らなければならない)

燃料タンク

アルミ製燃料タンクにCBR600F4iの純正ポンプを装着した。





現在の状況

現在のマシンの状態(8月20日)
エンジンを乗せ換え、ペダル、シフト、
フレーム塗装、各種ステーを製作い
たしております。

9月2日に厚木フォーミュラークラブに
てシェイクダウンいたします。

(予定)

完成報告まで今しばらくお待ちくださ
い。(9月初旬に報告予定)

第一回全日本学生フォーミュラー大会のお知らせ

大会スケジュール

9月10日(水) 9時~17時

車検・コスト・設計・プレゼンテーション

9月11日(木) 9時~17時

車検・動的審査

9月12日(金) 9時~16時

耐久走行・パレードラップ(本コース)

お車でのお来場も可です

いよいよ9月10日、11日、12日と全日
本学生フォーミュラー大会が富士スピード
ウェイで行われます。

一般の方、スポンサーの方も無料で観戦
できますので、是非ご来場ください。

<http://www.jsae.or.jp/formula/index.html>

大会公式ページがございます。プログラ
ムもここからダウンロードできます。

受付はメインゲート正面向かって左です

HONDA

CBR600F4i・各種
純正部品をいただきました



エンジンオイル・ブレーキフ
ルード等をいただきました

アルミの

カネヒロ

アルミ板を戴きました

協賛企業

小林機工

フレームフープ・サスペンション
アームの曲げ・排気管パーツを
戴きました

(有)溝口製作所

精密加工をして戴きました

A&B 設計

資金提供をして戴きました



レーシングスーツを戴きました